

平成26年度 県立国際高等学校 学校評価シート（年度末）集計結果

【学校評価実施方法】

(1) 今年度の実践目標の項目1～21について、本校全教職員による「4段階評価」を実施する。

4……よくできている 3……できている 2……あまりできていない 1……できていない

(2) 各項目ごとに平均をとり、その平均値について次の基準でA～Dの達成段階をつける。

平均値⇒達成段階 1.0≦x<2.0⇒D, 2.0≦x<2.8⇒C, 2.8≦x<3.5⇒B, 3.5≦x≦4.0⇒A

【参考】2014年度中

領域	評価の観点	評価項目	番号	担当 分掌	平成26年度 実践目標	4	3	2	1	平均	達成 段階	具体的な改善 策(評価1)の場合 は必ず記入	学校関係者評価 意見	平均	達成 段階	
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	総務 広報	個人情報の取扱いに関する校内規定の適切性を検討するとともに、学校のホームページを通じて学校の情報を発信し、週1回以上内容を更新する	13	21	4	0	3.22	B		【全般について】 ・先生方の意識が高くなっていると感じる。 ・目に見える客観的な指標が必要である。 ・各項目ともよく努力されている。 【17・18】 前年度比5%削減が実現でき、企業でもなかなかできない取組である。 【30】より充実した進路選択ができるように、グローバルな視点で卒業生等を呼べるようにできればよい。	3.10	B	
	勤務時間の適正化	校務・事務の効率化・IT化	2	全体	会議資料の事前配布、会議の所要時間を明確にすることで校務の効率化を図る	13	23	3	0	3.26	B			3.38	B	
			3		会議時間の短縮及び効率的な進行のために、提案予定案件を精査する	7	25	6	0	3.03	B			3.07	B	
			4		会議での配布資料(内容・枚数)を精選する	8	26	5	0	3.08	B			3.10	B	
			5		戸屋国際中等教育学校と連携して登校指導を行い、生徒の通学マナー向上を図る	10	26	3	0	3.18	B			3.00	B	
	生徒指導	生徒指導方針の確立と指導体制の構築	6	生徒指導	生徒向けに「いじめ」に関するアンケートを年2回実施し、いじめ対応チームで内容分析や事実確認を行う。また、「ケイタイ安全教室」を実施して、SNS等がいじめの火種になることを理解させて、携帯電話の正しい利用方法を学ばせる	12	27	0	0	3.31	B			3.26	B	
			7	生徒指導	県立国際の創設を正しく踏まえ、自然な道徳で生活することの大切さなど基本的な生活習慣を身につけることを目指す	10	26	3	0	3.18	B			3.12	B	
	進路指導	生徒の自主自律の精神を育む指導の工夫	8	生徒指導	年度当初に生徒会・各専門委員会が目標を立て、その目標を提示し、目標達成に向けて積極的な活動を行い、目標を実現できるように指導する	7	23	8	1	2.92	B			3.05	B	
			9	進路	進路指導室の充実を図り、進路通信、研修等で教職員・保護者等に進路情報を提供し、情報の共有を図る。各年次との連携を強化し、進路HRを共同で企画運営し、種やかな進路指導の実現を図る	10	27	2	0	3.21	B			3.34	B	
			10		職業人インタビュー、大学訪問、大学説明会、卒業生講話等とおして自らの興味・関心・適性に応じた進路選択の支援を行う	13	23	3	0	3.26	B			3.33	B	
学 校 運 営			教職員の資質向上	進路データ活用の推進	11		模試結果や進路実績、学習成績などを総合的に分析して、進路指導方針策定や生徒個々の進路指導に資する情報提供を行うためのシステムを構築し、その試験的な活用を図る	7	30	1	1	3.10	B			3.17
	実践的指導力の向上	12		教務	計画的に授業公開を実施し、生徒による授業改善につながる授業アンケートを行い授業改善に資する	2	34	3	0	2.97	B	具体的課題と改善案を明示してください。		3.00	B	
	計画性をもった研修の実施	13		全体	人権教育、教育相談、保健、情報機器・複合型機器等に関する実践的な校内研修を実施するとともに、職員会議等の機会を利用して報告会を行う	10	27	2	0	3.21	B			2.95	B	
	接遇の向上	14		全体	生徒及び来校者に対し、積極的な接遇を行う	8	29	2	0	3.15	B	生徒・教職員ともに、相手からの挨拶待ちが異変受けられる。		3.00	B	
	危機管理体制の整備	突発ある学校マニュアルの策定	15	管理 総務	校内安全点検を学期に1回実施するとともに、日頃から危機御用を認識し、危機管理(防災)マニュアルを必要に応じて改善し、職員・生徒・保護者に周知する	7	28	3	1	3.05	B			3.07	B	
		適正、効果的な予算運営	経費削減等の取組	16	全体	こまめな消灯、計画的な放水、裏紙使用等を励行する	6	29	4	0	3.05	B			2.98	B
				17		コピー・カウンター数を前年度比5%節約する	9	27	1	1	3.16	B			3.00	B
				18		学校全体で、更紙使用枚数を月あたり1,000枚、コピー用紙使用枚数を月あたり1,000枚削減する	5	28	7	0	2.95	B			2.86	B
				19		文書の校正はデータ(パソコン)上でを行い、サンプル印刷は最小限とするよう努める	5	25	7	0	2.95	B			2.95	B
	効率的な予算運営	備品・消耗品の計画的・効果的な予算執行を行う	20	事務	新規事業の立案にあたっては、既存事業とのスクラップ&ビルドを行うよう努める	3	28	4	0	2.97	B			2.84	B	
			21		複数年度継続している事業・取組については、3年を目途にその効果を検証し、継続の必要性、実施方法等を抜本的に見直す	2	26	3	0	2.97	B			2.94	B	
22			複数年度継続している事業・取組については、3年を目途にその効果を検証し、継続の必要性、実施方法等を抜本的に見直す		2	24	5	0	2.90	B			2.89	B		
学校経営管理		指示の徹底	23	管理 総務	業務の明確な指示を行うために、日頃から教職員と意思疎通を行う	4	18	13	3	2.81	C	意志疎通を明確に、メールで済まさない。研修、互いに全体を見据えた前向きな意見の交換を行う。		2.83	B	
	24		教務	新学習指導要領に対応した教育課程のもとで、課題解決能力を育む	7	26	5	0	3.05	B			3.13	B		
教育課程	自ら考え、課題を解決する力の育成	25	総務	戸屋国際中等教育学校と連携を図り、より実践的な防災訓練を学期ごとに行い、防災意識の向上を図る	10	28	2	0	3.18	B			3.17	B		
教育課程	防災・安全教育	防災・安全意識の向上	26	体育科 保健環境	生徒、教職員を対象とした救急法講習会を開催・参加し、生命と安全に対する意識と技術を高める	10	28	0	0	3.24	B			3.21	B	
			27	人権 生徒指導	「共生」をテーマとして、「外国人と共にいきる」「しょうがい者と共にいきる」を学ぶため、人権教育推進委員会を中心として講演会やホームルーム活動を計画・実施	7	27	4	0	3.08	B			3.07	B	
			28	国際	英語圏や英語圏以外の人々とのワークショップを通じて多言語・多文化を受容する素地を作る	18	20	1	0	3.44	B	事業の目標・意義と実施方法の見直しも定期的に必要		3.46	B	
			29	国際 1年次 総務	総合的な学習の時間において、社会への貢献活動を実施するとともに、高齢者との交流、園児の収穫体験、カヌーを道じた交流、通学路の清掃活動等を行う	15	22	2	0	3.33	B	地域の方々との積極的な接点・交流機会を設定してはどうか。		3.37	B	
総合的な学習の時間、体験活動(高校生ふるさと学習活動、職業体験)	30	進路	職業体験事業を実施し、生徒が自己の将来のあり方、生き方について考え、目標をもって主体的に進路選択ができるよう努める。また、進路指導委員会と連携し、進路指導を行う。	9	25	5	0	3.01	B	卒業生による人材バンクを積極的に活用する。		3.00	B			